

第3次計画策定に向けた市民アンケートの結果について

1 調査の目的

令和8年度に「第2次砺波市総合計画」を見直し、「第3次砺波市総合計画」を策定するにあたり、市民の皆様のご生活環境や市政運営に関する満足度やご意見、ご要望などを把握するため、「市民アンケート調査」を実施しました。

2 調査概要

- ・ 調査地域 : 砺波市全域
- ・ 調査対象者 : 砺波市内在住の18歳以上の住民
- ・ 調査期間 : 令和8年1月7日から1月31日まで
- ・ 調査方法 : 郵送配布、郵送回収（一部2次元コードからWEBでの入力・回収）
また、対象者以外の市民にも周知し、WEBによる回答を得た。

■回収率

●郵送による調査

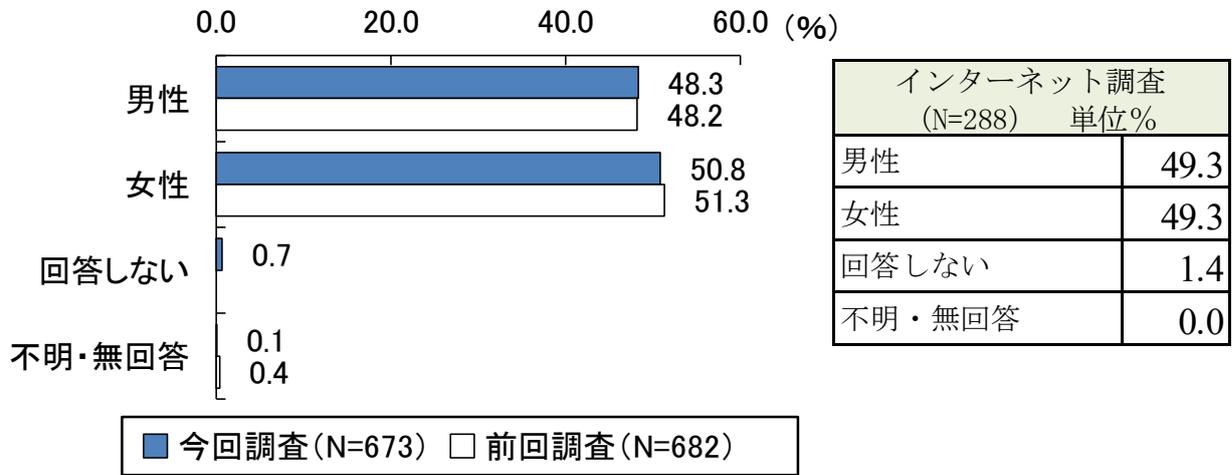
配布数	回収数	回収率
1,300	郵送回収分 427	郵送回収分 32.8%
	2次元コード入力 246	2次元コード入力 18.9%
	合計 673	合計 51.8%

●対象者以外のインターネット（WEB）調査

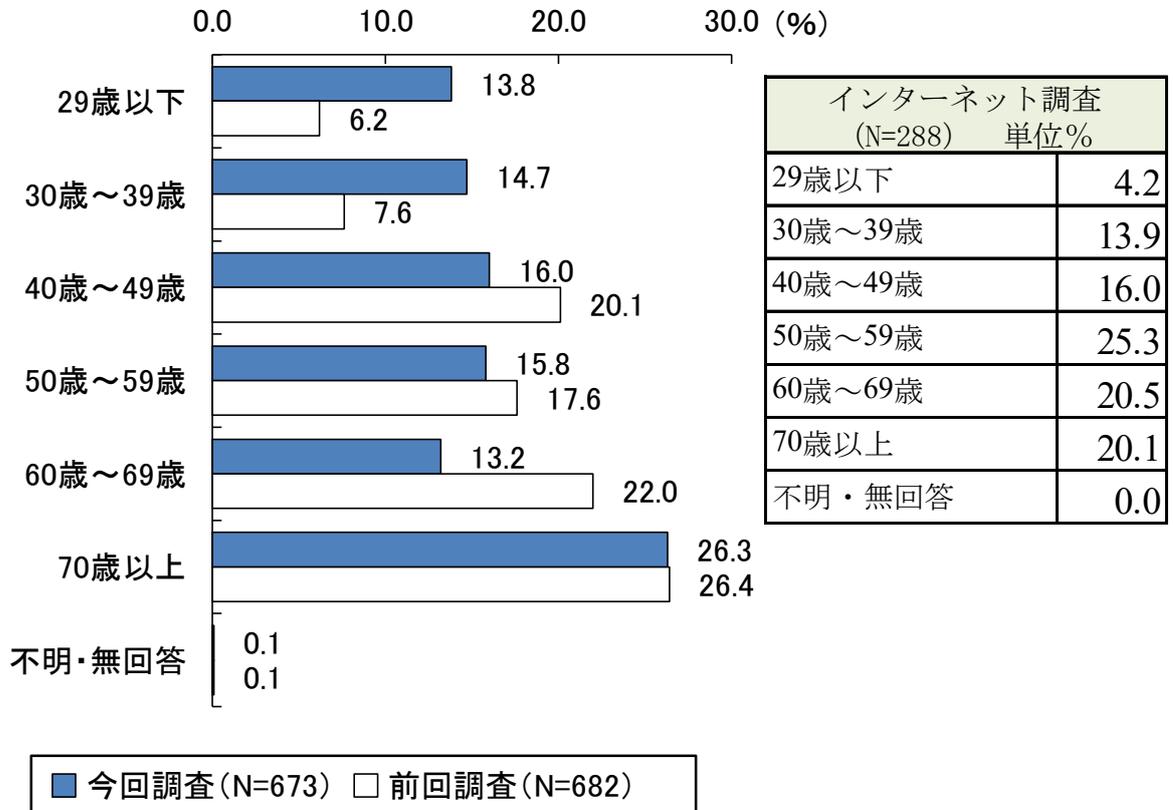
配布数	回収数	回収率
—	288	—

3 回答者について

(1) あなたの性別は（単数回答）



(2) あなたの年齢は（令和7年12月1日現在）（単数回答）



※以降、ページ数の都合上、性別や年齢層別の表は省略していますが、分析文章には記載がある場合があります。

4 砺波市での生活の良い点・不満点について

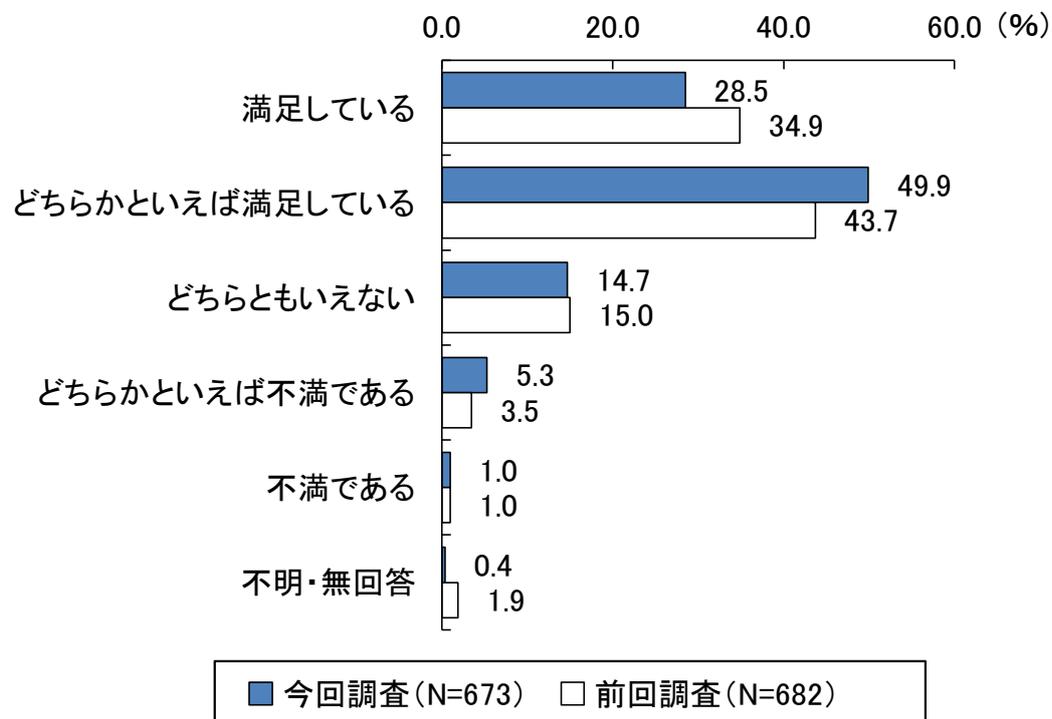
(1) 砺波市での生活にどの程度満足していますか。(単数回答)

砺波市での生活の満足度についてみると、「どちらかといえば満足している」が49.9%と最も高く、次いで「満足している」が28.5%、「どちらともいえない」が14.7%となっています。前回調査と比較すると「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせた『概ね満足』が0.2ポイント減少ですが、ほぼ横ばいとなっています。

一方、「どちらかといえば不満である」と「不満である」を合わせた『概ね不満』が1.8ポイント増加しています。

性別では、男性で「満足している」が3割を超え、女性と比べて高くなっています。

年齢別では、「概ね満足」が最も高いのは18歳～29歳で83.9%、最も低いのは40～49歳で74.1%となっています。



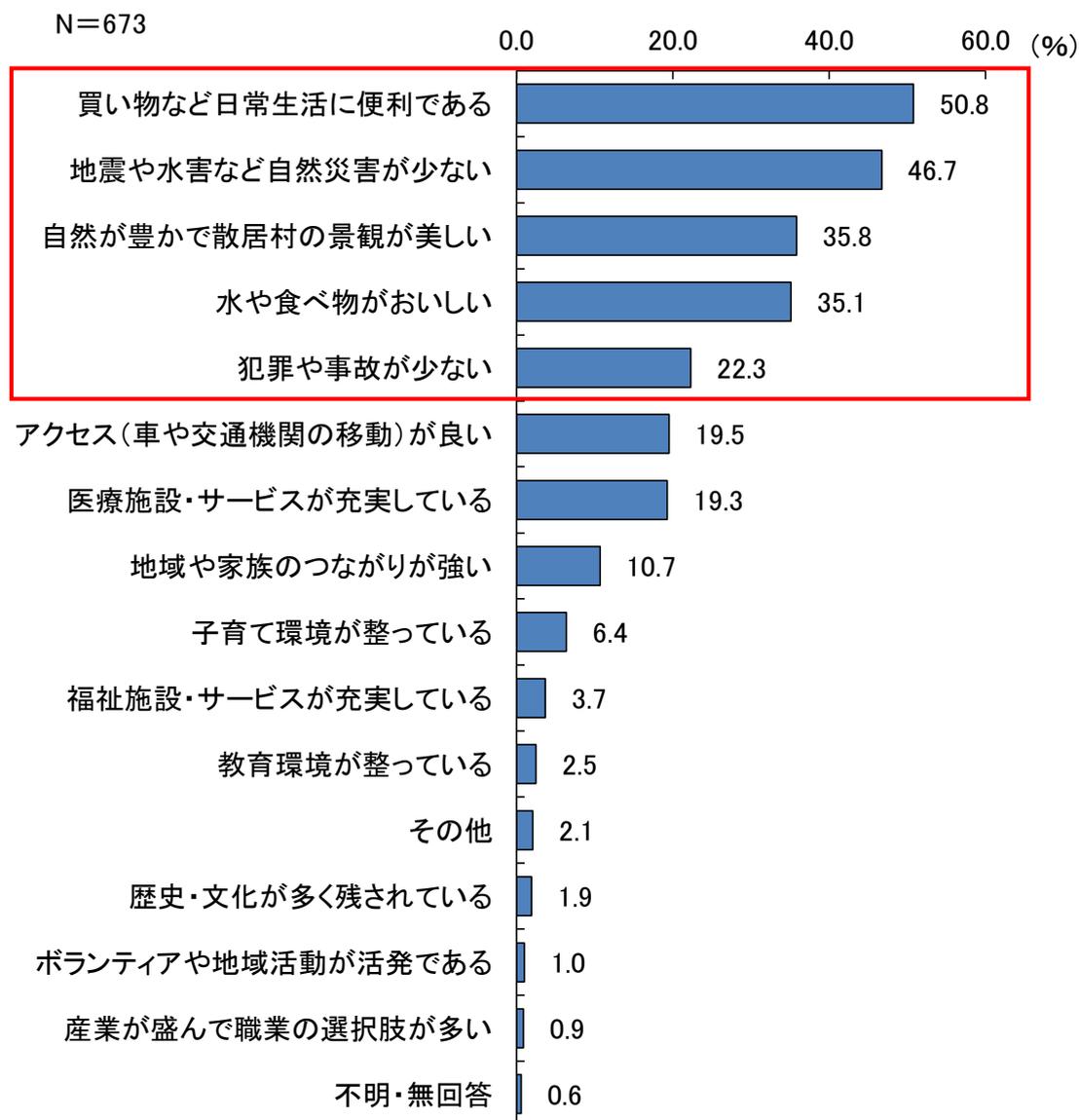
(2) 砺波市の良い点や魅力をどのようなところに感じていますか。(複数回答・3つまで)

砺波市の良い点や魅力だと感じるについてみると、「買い物など日常生活に便利である」が50.8%と最も高く、次いで「地震や水害など自然災害が少ない」が46.7%、「自然が豊かで散居村の景観が美しい」が35.8%となっています。

性別では、男女ともに「買い物など日常生活に便利である」が最も高くなっています。

年齢別では、59歳以下では「買い物など日常生活に便利である」、60歳以上では「地震や水害など自然災害が少ない」が最も高くなっています。

地区別では、庄南・鷹栖で「地震や水害など自然災害が少ない」、庄東で「自然が豊かで散居村の景観が美しい」、庄川で「水や食べ物がおいしい」、出町・砺波南部・砺波東部・砺波北部で「買い物など日常生活に便利である」が最も高くなっています。

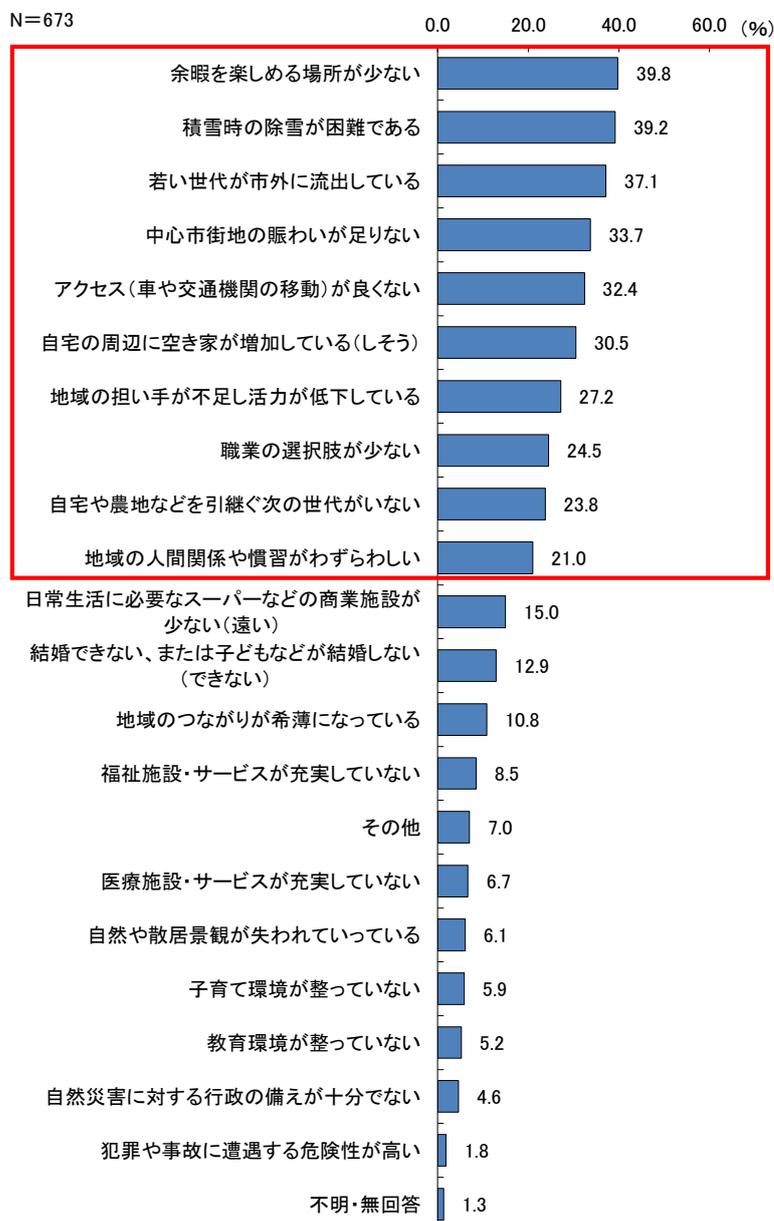


(3) あなたが砺波市で生活する上で、どのようなところに不便や不安を感じていますか。(複数回答)

砺波市で生活する上で不便や不安を感じていることについてみると、「余暇を楽しめる場所が少ない」が39.8%と最も高く、次いで「積雪時の除雪が困難である」が39.2%、「若い世代が市外に流出している」が37.1%となっています。

性別では、男性では「若い世代が市外に流出している」、女性では「積雪時の除雪が困難である」が最も高くなっています。

年齢別では、29歳以下・30歳～39歳で「余暇を楽しめる場所が少ない」、40歳～49歳で「積雪時の除雪が困難である」、50歳～59歳で「若い世代が市外に流出している」、60歳～69歳・70歳以上で「自宅の周辺に空き家が増加している(しそう)」が最も高くなっています。

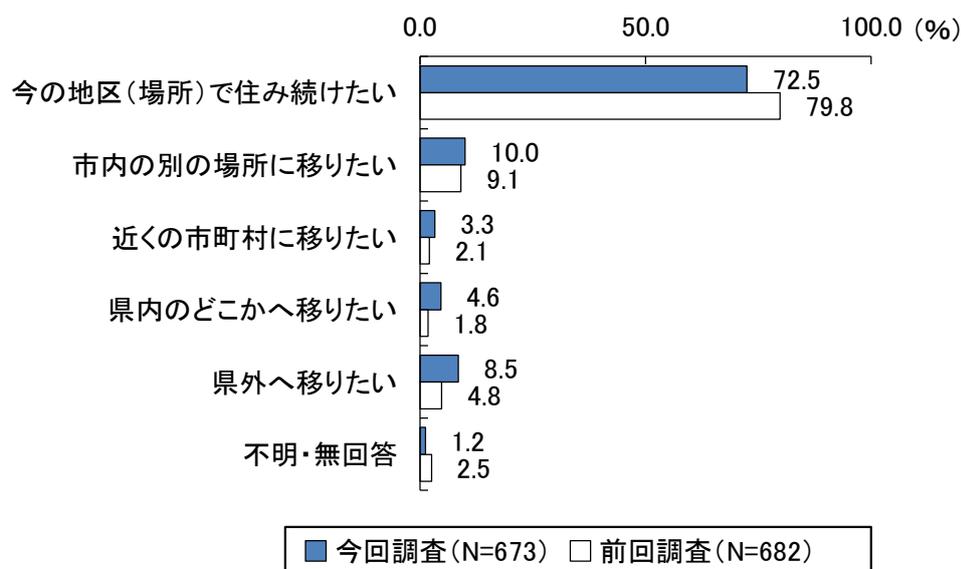


(4) 今後も砺波市に住み続けたいと思いますか。(単数回答)

今後も砺波市に住み続けたいと思うかについてみると、「今の地区(場所)で住み続けたい」が72.5%と最も高く、次いで「市内の別の場所に移りたい」が10.0%、「県外へ移りたい」が8.5%となっています。前回調査と比較すると「今の地区(場所)で住み続けたい」と「市内の別の場所に移りたい」を合わせた『定住意向』が6.4ポイント減少、「近くの市町村に移りたい」「県内のどこかへ移りたい」「県外へ移りたい」を合わせた『移住意向』が7.7ポイント増加しています。

性別では、男性で「今の地区(場所)で住み続けたい」が女性と比べて高くなっていますが、「市内の別の場所に移りたい」は男性と比べて女性の割合が高くなっています。

年齢別では、年齢が高くなるにつれて「今の地区(場所)で住み続けたい」の割合が高くなる傾向がうかがえます。



5 砺波市への転入の状況について

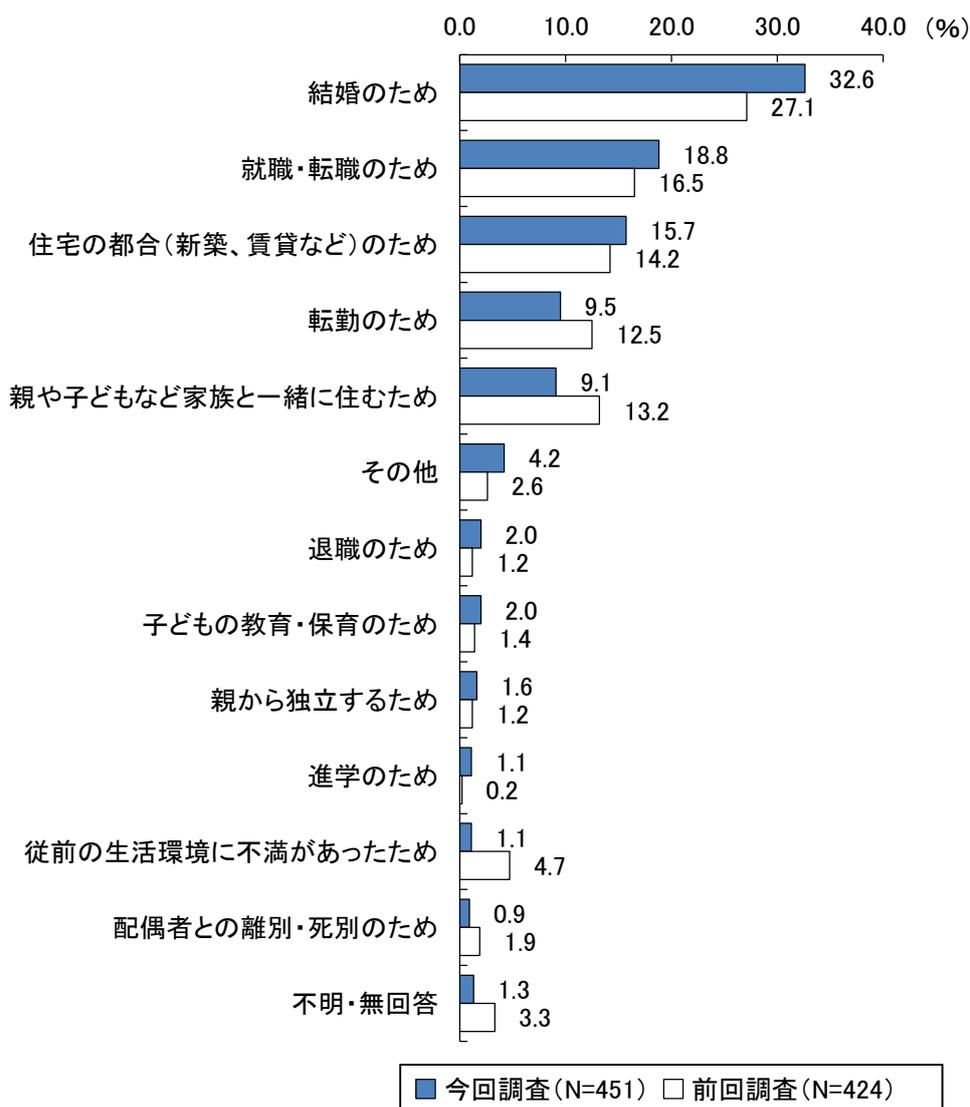
(1) 砺波市に転入した(戻った)最も大きな理由は何ですか。

(市外居住歴がある方のみ、単数回答)

転入の最も大きな理由についてみると、「結婚のため」が32.6%と最も高く、次いで「就職・転職のため」が18.8%、「住宅の都合(新築、賃貸など)のため」が15.7%となっています。前回調査と比較すると「結婚のため」が5.5ポイント増加しています。

性別では、男性で「就職・転職のため」、女性で「結婚のため」が最も高くなっています。

年齢別では、29歳以下で「就職・転職のため」、30歳以上で「結婚のため」が最も高くなっています。



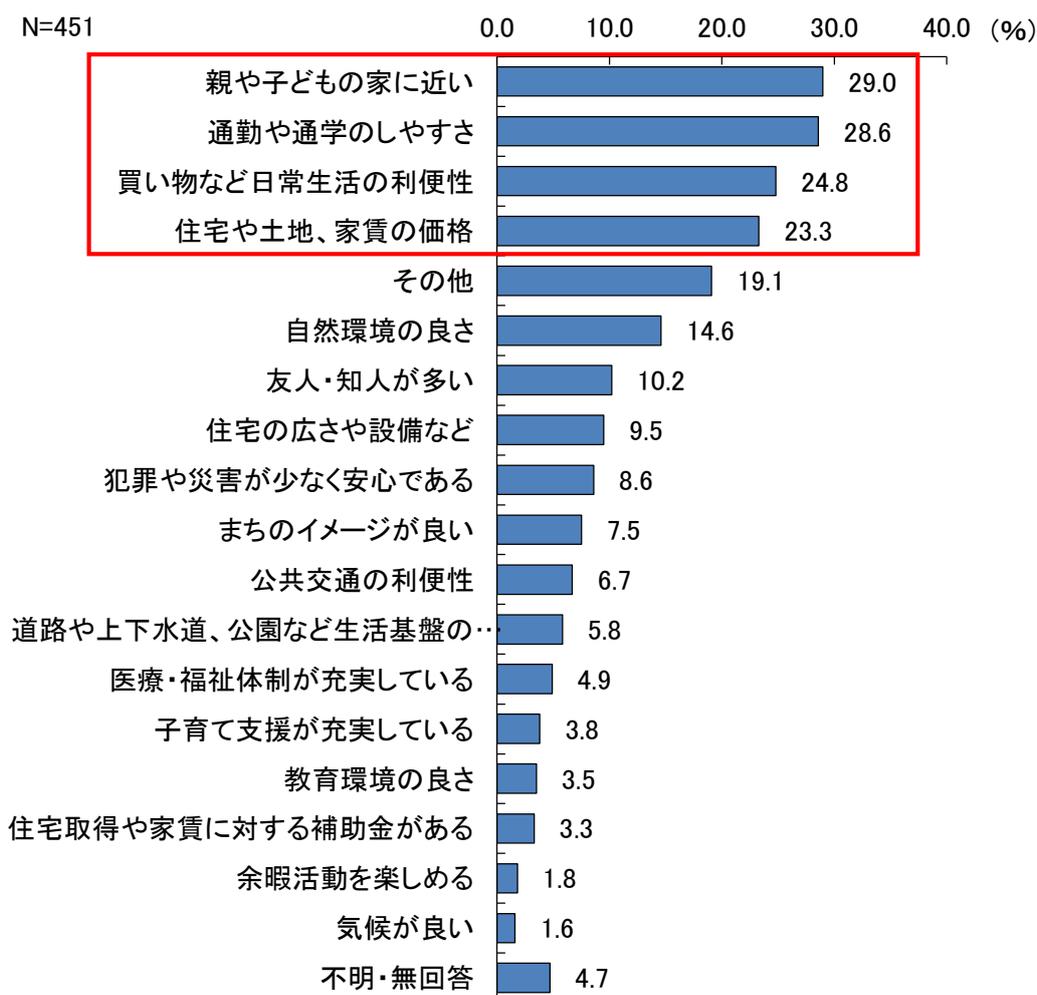
(2) 砺波市に転入する(戻る)ことを決める際にどのような点を重視しましたか。
(市外居住歴がある方のみ、複数回答)

転入する際に重視した点についてみると、「親や子どもの家に近い」が29.0%と最も高く、次いで「通勤や通学のしやすさ」が28.6%、「買い物など日常生活の利便性」が24.8%となっています。

性別では、男性では「親や子どもの家に近い」、女性では「通勤や通学のしやすさ」が最も高くなっています。

年齢別では、29歳以下で「買い物など日常生活の利便性」、30歳～39歳で「通勤や通学のしやすさ」、40歳～49歳・50歳～59歳で「親や子どもの家に近い」、60歳～69歳で「住宅や土地、家賃の価格」、70歳以上で「住宅や土地、家賃の価格」「自然環境の良さ」が最も高くなっています。

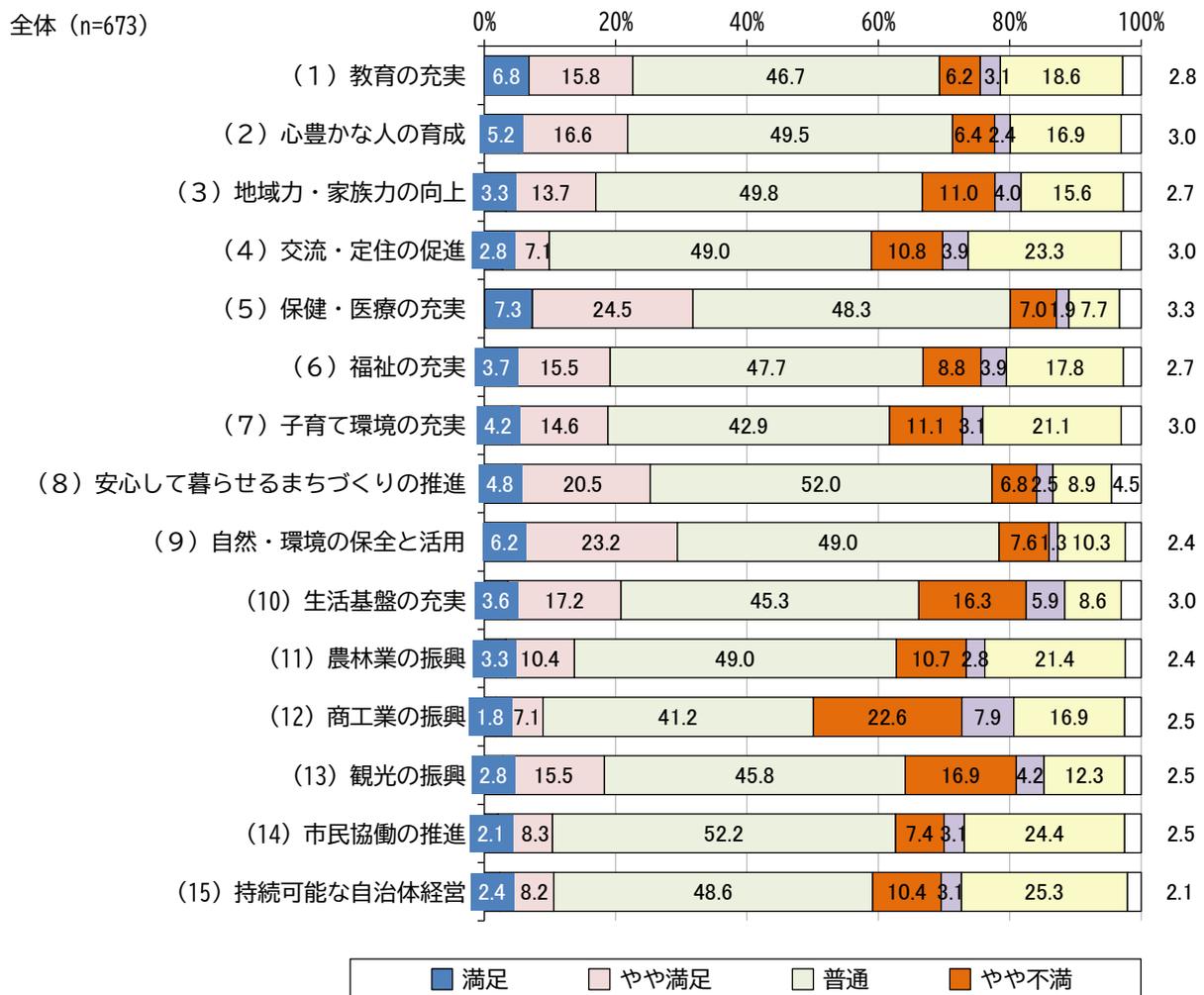
地区別では、出町・砺波北部で「通勤や通学のしやすさ」、庄南で「住宅や土地、家賃の価格」、砺波南部で「買い物など日常生活の利便性」、鷹栖で「買い物など日常生活の利便性」、砺波東部・庄川では「親や子どもの家に近い」が最も高くなっています。



6 施策別の評価について

(1) 砺波市の主要な施策について、どのくらい満足されていますか。

市の主な施策の満足度についてみると、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足度が高い』項目は「(5) 保健・医療の充実」「(9) 自然・環境の保全と活用」等で、「やや不満」と「不満」を合わせた『不満度が高い』項目は「(10) 生活基盤の充実」「(12) 商工業の振興」等となっています。



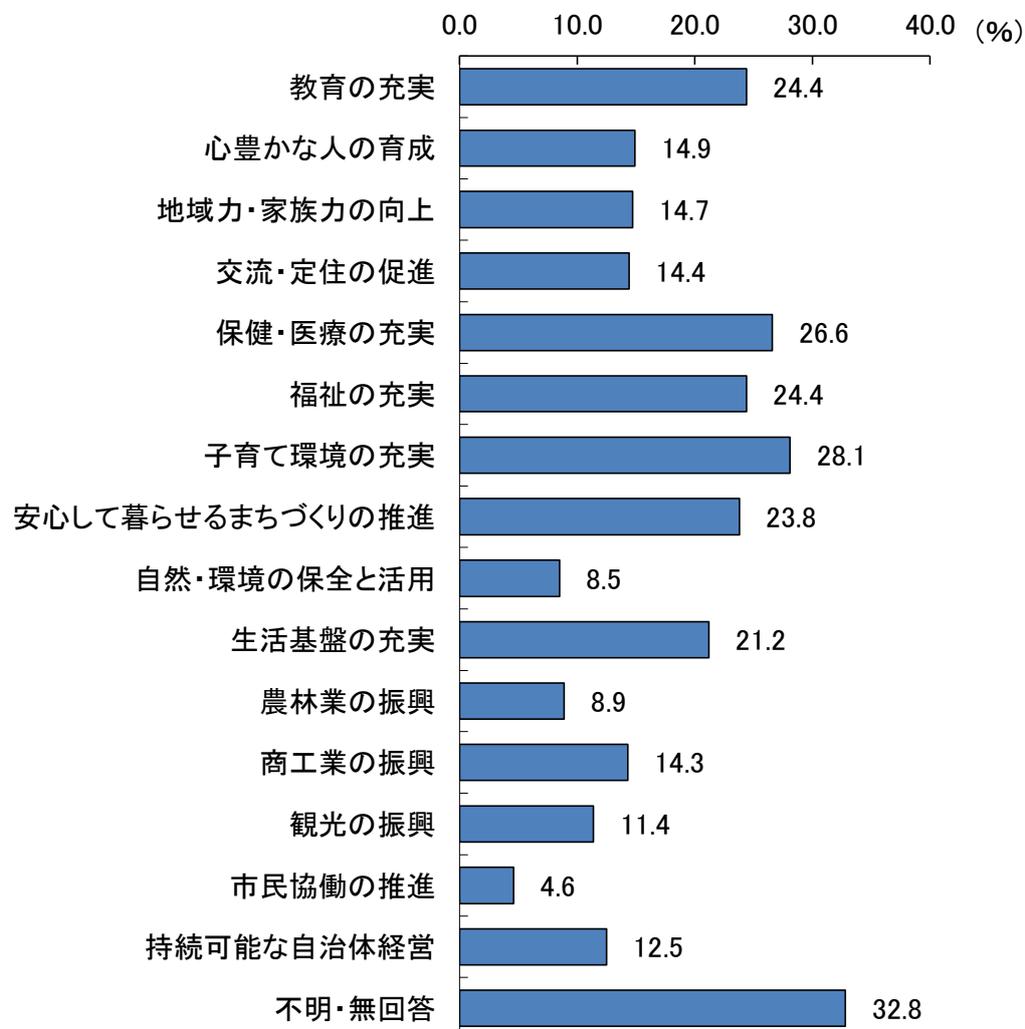
(2) 特に重要だと考える施策はどれですか。

市で特に重要だと考える施策についてみると、「子育て環境の充実」が28.1%と最も高く、次いで「保健・医療の充実」が26.6%、「教育の充実」「福祉の充実」が24.4%となっています。

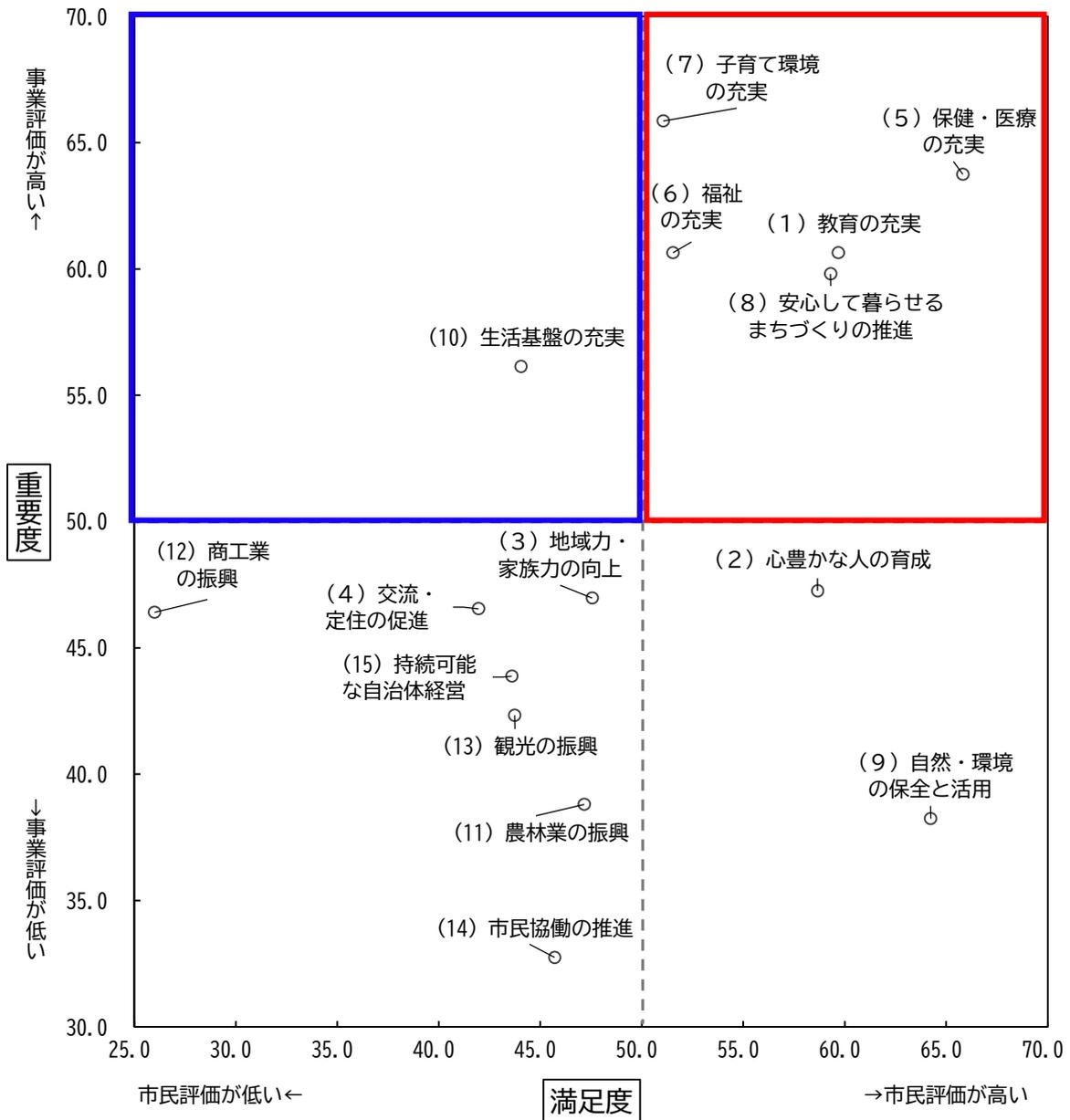
性別では、男性で「子育て環境の充実」、女性で「保健・医療の充実」が最も高くなっています。

年齢別では、49歳以下で「子育て環境の充実」、50～59歳で「安心して暮らせるまちづくりの推進」、60～69歳で「生活基盤の充実」、70歳以上で「福祉の充実」が最も高くなっています。

今回調査(N=673)



満足度・重要度について、偏差値換算し、その相関関係を表した表
 (偏差値換算のため、平均値は 50.00 となる)



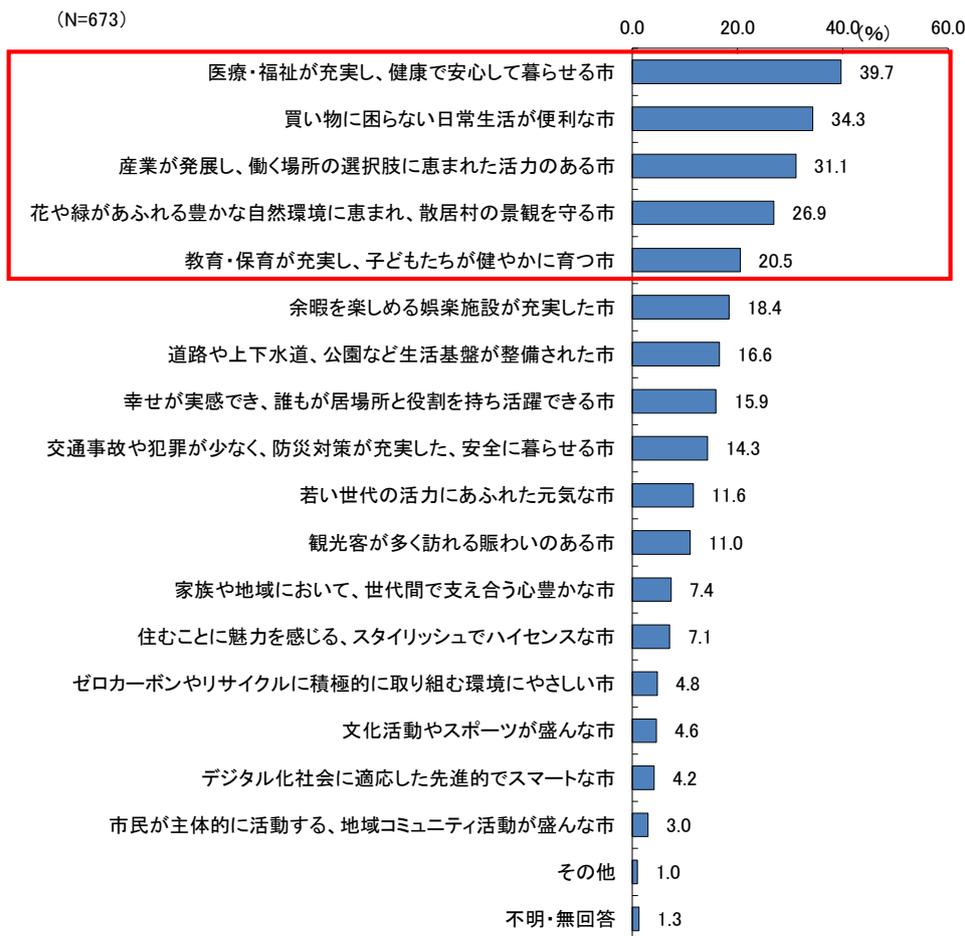
7 砺波市の将来の姿について

(1) 砺波市の未来の姿として、ふさわしいと思うものはどれですか。(複数回答・3つまで)

砺波市の未来の姿として、ふさわしいと思うものについてみると、「医療・福祉が充実し、健康で安心して暮らせる市」が39.7%と最も高く、次いで「買い物に困らない日常生活が便利な市」が34.3%、「産業が発展し、働く場所の選択肢に恵まれた活力のある市」が31.1%となっています。

性別では、男性で「買い物に困らない日常生活が便利な市」、女性で「医療・福祉が充実し、健康で安心して暮らせる市」が最も高くなっています。

年齢別では、39歳以下で「買い物に困らない日常生活が便利な市」、40～49歳で「買い物に困らない日常生活が便利な市」「医療・福祉が充実し、健康で安心して暮らせる市」、50歳以上で「医療・福祉が充実し、健康で安心して暮らせる市」が最も高くなっています。



(2) 全国的に人口減少が進む中で、将来を担う若い人たちが住み続けられるまちづくりの視点が重要となっています。あなたは、砺波市が若者から選ばれるまちとなるために、どのようなことが必要だと考えますか。(複数回答・2つまで)

砺波市が若者から選ばれるまちとなるため必要だと思うことについてみると、「若者が働ける場や働きやすい職場を増やすこと」が57.5%と最も高く、次いで「結婚・出産・子育て支援などを充実させること」が42.3%、「住宅、住まいに関する支援を充実させること」が22.6%となっています。

性別では、男女ともに「若者が働ける場や働きやすい職場を増やすこと」が最も高くなっています。

年齢別では、30～39歳で「結婚・出産・子育て支援などを充実させること」、その他の年代で「若者が働ける場や働きやすい職場を増やすこと」が最も高くなっています。

(N=673)

